

自己評価結果公表

学校法人大阪聖マリア学園
認定こども園
枚岡カトリック幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教的人間観に基づき、乳幼児の個性を尊重し、適当な環境を与えて、心身共に健康で調和の取れた発達を助長する。

2. 2018年度、重点的に取り組んだ目標・計画

昨年度からの課題を踏まえ、教職員間の連携と、保育を必要とする子どもたちへの十分な配慮に力を注ぐ。環境整備においては園庭、駐輪所の確保として土地の取得と1・2歳児のための安全な園庭の整備を計画中である。

教育目標

- ・神さまに愛されていることを知り安心して過ごす子ども
- ・進んで挨拶のできる子ども
- ・言葉で伝えることができる子ども

3. 評価目標の達成及び取組状況

課 題	具体的な取り組み方法
教職員の スキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ・専門リーダーとしての役割を果たし、前向きに取り組む職員と、内容が十分に理解できずに戸惑う職員との差が見られた。 ・教育実践リーダーを配置し、発達の連続性を職員会議の中での一項目として一年間を通して学ぶ機会を設けた。 ・各学年に宗教担当者を一人配置することで、子どもたちへの宗教教育は行き届いた。
職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学年リーダーを配置し定期的に話し合いを行い、他学年との連携を強めた。 ・職員会議などでは、聖書の分かち合いなどを行い、仕事のスキルだけでなく心が通い合えるようにした。 ・朝礼・終礼ノートの回覧を徹底し。情報の共有を心掛けた。
安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・1.2歳児の園庭の整備を行った。(チップ工事) ・災害の多い一年となったため安全対策リーダーを中心に災害時の避難について見直した。 ・西日本地震の際、電話などの連絡がつかなくなったため、地震探知機付きのIP無線機を3台導入し、使用している。 ・枚岡警察による不審者対策に対する職員の研修を行った。

<p>子どもの自立に向けた環境構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1歳から就学前の子どもたちの発達の連続性を踏まえたうえで、一人ひとりに合わせた環境設定を職員会議にて毎月、話し合い実践している。 ・子ども主体で、子ども自身が自ら考え、選び、活動できるよう室内・園庭の環境構成について、話し合い実践へとつなげている。 ・モンテッソーリのお部屋マリアンルームを開設し、自由活動の時間に利用できるようにしたところ、多くの子どもが自ら利用した。 ・長時間保育の子どもたちの部屋は安心して過ごせるよう、ランチルームに畳を引き家庭的な雰囲気の部屋作りを行った。
<p>保護者・地域との連携・情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年長組の小学校訪問、特別支援児のための特別支援学校や支援学級などへの相談などを通して顔の見える関係持つことができた。 ・子育てサロン・園庭開放への参加者が増えた。 ・HPの更新の回数を増やし、日々の情報が伝達できた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>今年度は副園長を迎え、マリアンルーム（モンテッソーリの部屋）を開設した。自分の意志で参加し喜んで活動する子どもたちの姿から、子どもの自立を育むために、自由時間の大切さを改めて感じた。今後も職員全体で話し合い、学びあいながら子どもたちに良い環境を構築していきたいと思う。</p> <p>また、地震や大雨等、災害も多い年であった。無線機などの機器整備と同時に職員全体の意識の向上に取り組んだ一年であった。</p> <p>専門リーダーがそれぞれの発信を始めたため、さまざまな視点から保育を見直すことができた一年であった。今後はより一層専門性をもって取り組んでいきたいと思う。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>教職員のスキルアップ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・専門リーダーの配置変えを行い、得意な分野において研鑽し、園内においてリーダーシップを発揮していく。 ・学びに向かう力をつけるために子ども自身が選んで活動できるカリキュラムや環境設定についてそれぞれが研究し、実践していく。 ・教職員一人一人が、子ども・保護者・同僚に対して愛の実践を行う。
<p>安全対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルの見直しを行う ・リスクマネジメントについて教職員全員が日頃から心がける。 ・安全対策リーダーを中心に、さまざまな場面を想定した避難訓練を行う。
<p>子どもが一人で生活できるための環境設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをよく観察し、自分で選び、一人でできるよう環境を整える ・思考の芽生えを促すような、子どもの心に語り掛ける環境を準備する。 ・畑を作り、五感を使って自然の中から学べる環境を準備する。 ・本物の音に出会い、身体で音を感じ楽しめ利用にする。

保護者・ 地域との連携・ 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の様々な災害を教訓に教職員全員が近隣の方との声かけ、顔を合わせたお付き合いを心掛ける。 ・ 地域の方にも参加していただけるコンサートなどを企画する。 ・ 保護者向けのコンサート、講演会などを企画する。 ・ 校区の小学校、中学校との連携を深める。 ・ 老人ホームなど慰問を引き続き行う
-------------------------	---

◎ 2019年度、重点的に取り組む目標・計画

教育理念である「愛されることにより愛を覚える」の実践に向けて、子どもたち一人ひとりが自ら選び活動し満足できるよう環境設定を心掛け、教職員は子ども・保護者・同僚に対しての愛の実践に力を入れる。

年間保育目標

ことばに満たされて～ひびきあう～

好きなことを見つけて集中して取り組み、最後までやりとげる子ども

自信をもって過ごす子ども

友だちのことを大切にできる子ども

◎ 2019年度の評価項目

- ・ 教職員のスキルアップ
- ・ 安全対策
- ・ 子どもが一人で生活できるための環境設定
- ・ 保護者、地域との連携、情報発信

6. 学校関係者の評価

認定こども園となり2年目。社会で生きていくために必要なことを幼稚園で教えて頂き小学校生活にも適応できています。

また、子どものための環境設定、安全対策や情報発信など今年度の丁寧な取り組みで改善されたことがアンケート結果などによってもうかがえます。

今後は小学校との連携も強め、園の教育理念・目標を保護者にも周知して頂き、協力してもらうよう要請が必要だと考えます。